

日々の祈り

2022年3月7日(月)～12日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるままに、祈りの時をもちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・受難節、イエスさまがわたしたちの罪のために担われた苦難の十字架を覚えて、悔い改めと感謝を持って日々を歩めるように。
- ・一刻も早く戦争が終わり、人々に平安が与えられるように。またわたしたちが祈り続け、与えられた場所で主の平和の使者として用いられるように。
- ・東日本大震災、また各地の災害によって悲しみを覚えている人々のために。

7日(月)

ルカによる福音書 21 章 27～28 節

そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見ると。このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の 때가近いからだ。

昨日の御言葉を思い巡らしましょう。わたしたちは、イエスさまが罪を贖って下さり、永遠の命を与え、終わりの日には復活の体を与えて下さるということを知らされています。終わりの日の確かな恵みの約束を与えられています。だからわたしたちは、弱さや、苦しみや、惨めさの中にあっても、ただ主をひたすら仰ぎ見て、身を起こして、頭を上げて、イエスさまの再臨の日を心から待ち望むのです。

8(火)

使徒言行録 3 章 20～21 節

こうして、主のもとから慰めの時が訪れ、主はあなたがたのために前もって決めておられた、メシアであるイエスを遣わして下さるのです。このイエスは、神が聖なる預言者たちの口を通して昔から語られた、万物が新しくなるその時まで、必ず天にとどまることになっています。

慰めは主なるイエスさまのもとから来ます。イエスさまは十字架の苦しみによってわたしたちの罪の贖いを成し遂げ、復活させられ、天に上げられました。今は天にとどまっておられ、やがて再び来られます。再臨の時は、「万物が新しくなるその時」です。神さまのご支配の完成の時。わたしたちの救いが完成する日。すべてが新しくされる日。この日こそ、慰めの時が訪れる日です。

9日(水)

使徒言行録4章12節

ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。

「主イエス・キリスト」。わたしたちの「主」であり、「ナザレのイエス」と呼ばれ、わたしたちの「キリスト」、救い主となられた方。天下にこの名のほか、わたしたちが救われるべき名は、人間には与えられていません。この名にのみ、救いがあります。そしてわたしたちは、この名を知っています。ただこの名を呼び求めましょう。「主イエス・キリスト」。イエスさまこそ、わたしの主であり、救い主です。

10日(木)

詩編57編2~4節

憐れんでください／神よ、わたしを憐れんでください。わたしの魂はあなたを避けどころとし／災いの過ぎ去るまで／あなたの翼の陰を避けどころとします。いと高き神を呼びます／わたしのために何事も成し遂げてくださる神を。天から遣わしてください／神よ、遣わしてください、慈しみとまことを。わたしを踏みにじる者の嘲りから／わたしを救ってください。

「わたしのために何事も成し遂げてくださる神」。神さまが、わたしたちを愛し、深く憐れみ、わたしたちを救うために、何事も成し遂げて下さるということです。そしてわたしたちは、神の独り子イエスさまが、低く降り、苦しみを受け、十字架に架かって下さった。神さまが、ご自分の愛する御子の命さえ、わたしのために惜しまず与えて下さった。そのことを知らされます。

11日(金)

詩編119編96節

何事にも終りと果てがあるのをわたしは見ます。広大なのはあなたの戒めです。

次の主日礼拝の御言葉です。世のことには何事にも終りと果てがあります。わたしたちも含め、この世界に永遠に続くものは何もありません。しかし、神さまは永遠から永遠にいます方です。広大なあなたの戒め。それは御言葉のことであり、光あれと言われれば光をあらしめる、命の御言葉のことです。わたしたちはただ主の御言葉によって命を得るのです。

12日(土)

ルカによる福音書21章36節

しかし、あなたがたは、起ころうとしているこれらすべてのことから逃れて、人の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈りなさい。

明日の主日礼拝の御言葉です。人の子、つまりイエスさまが、わたしたちの救いを実現し、すべてを支配し、すべてを完成させて下さいます。「わたしの言葉は決して滅びない」と言われたイエスさまが、終わりの日が来るまでわたしたちを導いて下さり、やがて来たる日には、わたしたちを新しく完成させて下さるのです。だから、恐れたり、惑わされたり、混乱することはありません。いつも目を覚まして祈りなさい」と言われたように、希望をもって、期待をして、主が再び来られる日を待ち望みたいのです。